

日本リスク・データ・バンク株式会社
オペレーショナル・リスク データベース

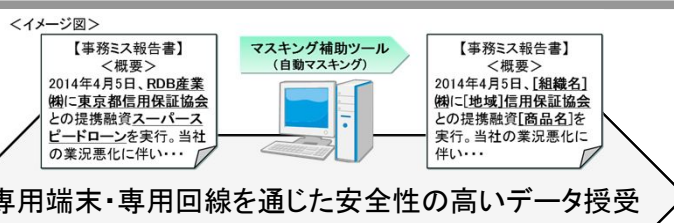


- ▶ 会員金融機関より内部損失データ(社内で発生した事務事故・事務ミスなどのオペレーショナル・リスクに係る報告データ)を3ヶ月毎抽出頂きます。
- ▶ 会員金融機関に抽出頂いた内部損失データ全件に対して、RDBは“仕分分類(業務・工程・事象の3分類)”を付与した上でデータを会員に還元します。
- ▶ 会員金融機関は、全会員の内部損失データを閲覧することができます。
- ▶ 共同DBに格納されている内部損失データは、匿名性が担保(“自社データ”、“他社データ”の区別しか分かりません)されています。

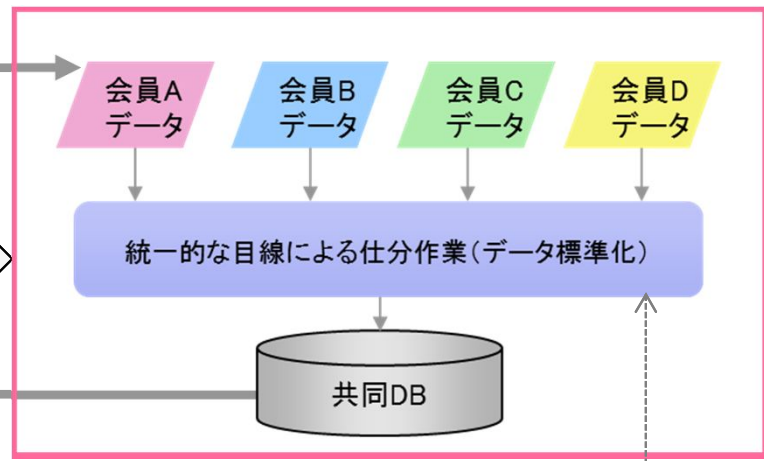
●内部損失データの抽出

データの抽出にあたっては、会員金融機関に、“人名”、“企業名”、“金融機関名”、“金融機関を特定しうる商品名”をマスキング※頂くルールになっています。
 ※有償にて、“マスキング補助ツール”をご提供しております

会員金融機関



RDB



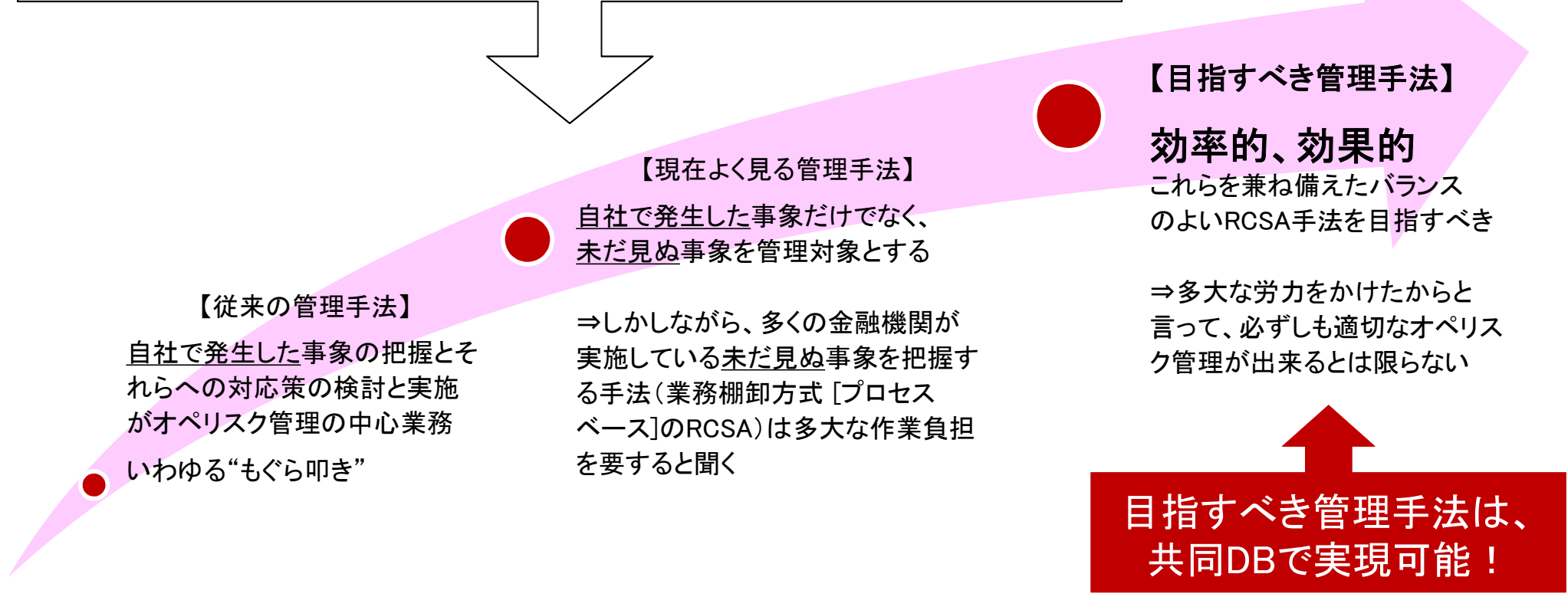
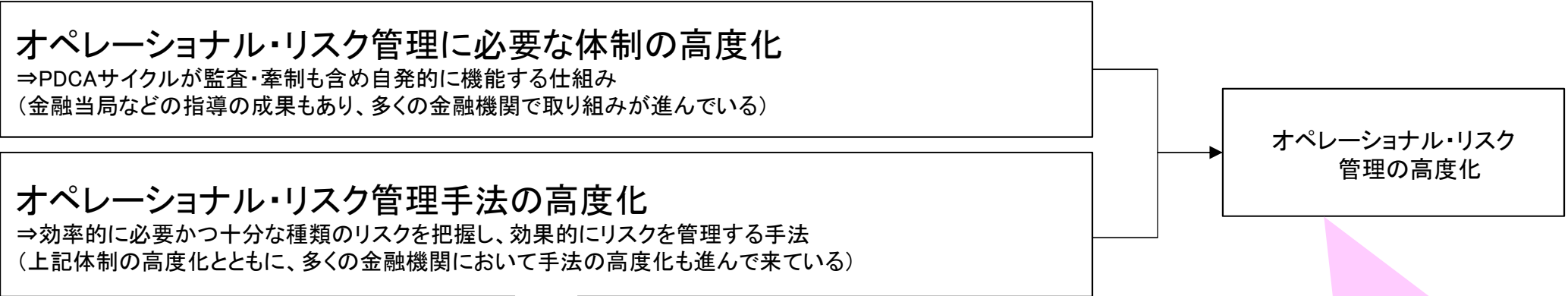
●共同DBの還元

上記、に記載の通り、金融機関名を特定しうる情報はマスキングされているため、
データの匿名性が担保(“自社データ”、“他社データ”の区別しか分かりません)されています。

【共同DBの付加価値】RDB仕分分類の付与 ～データ標準化のために～

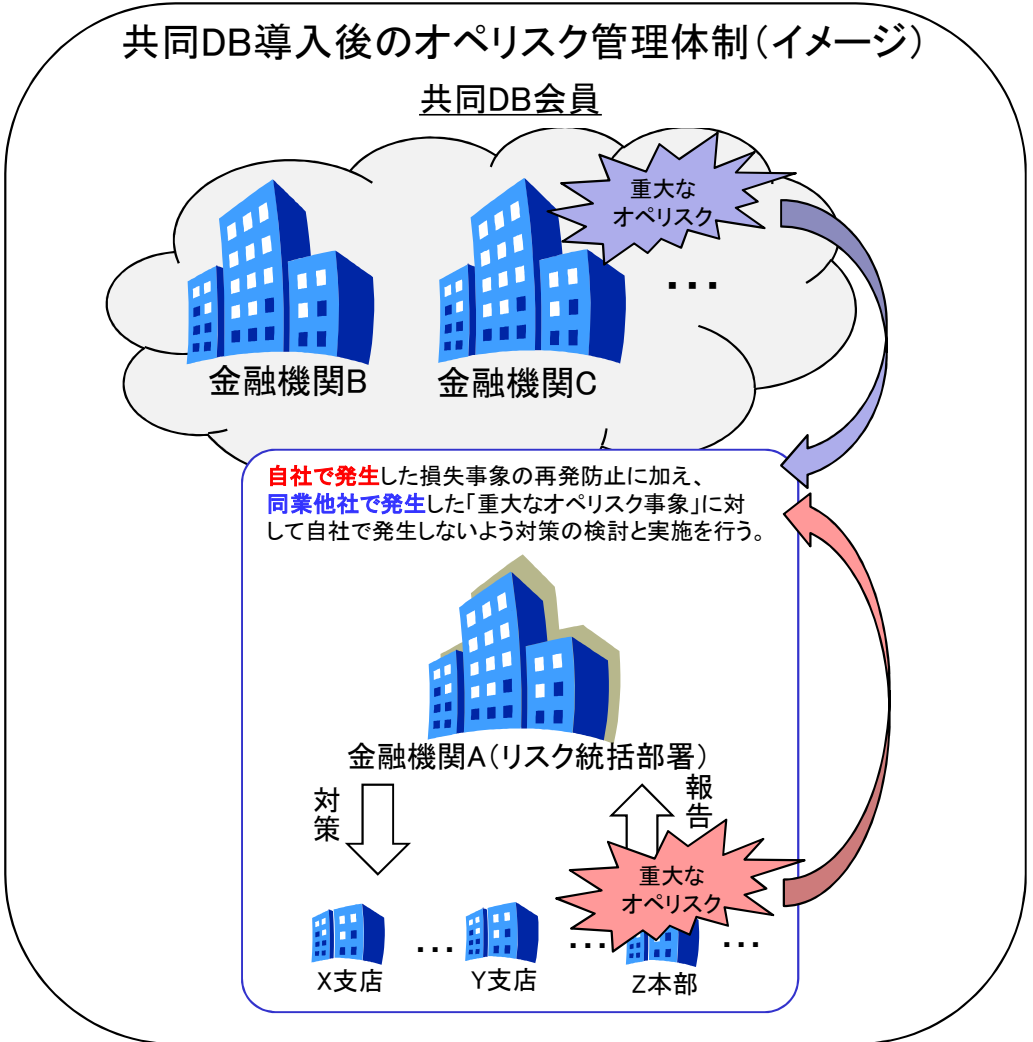
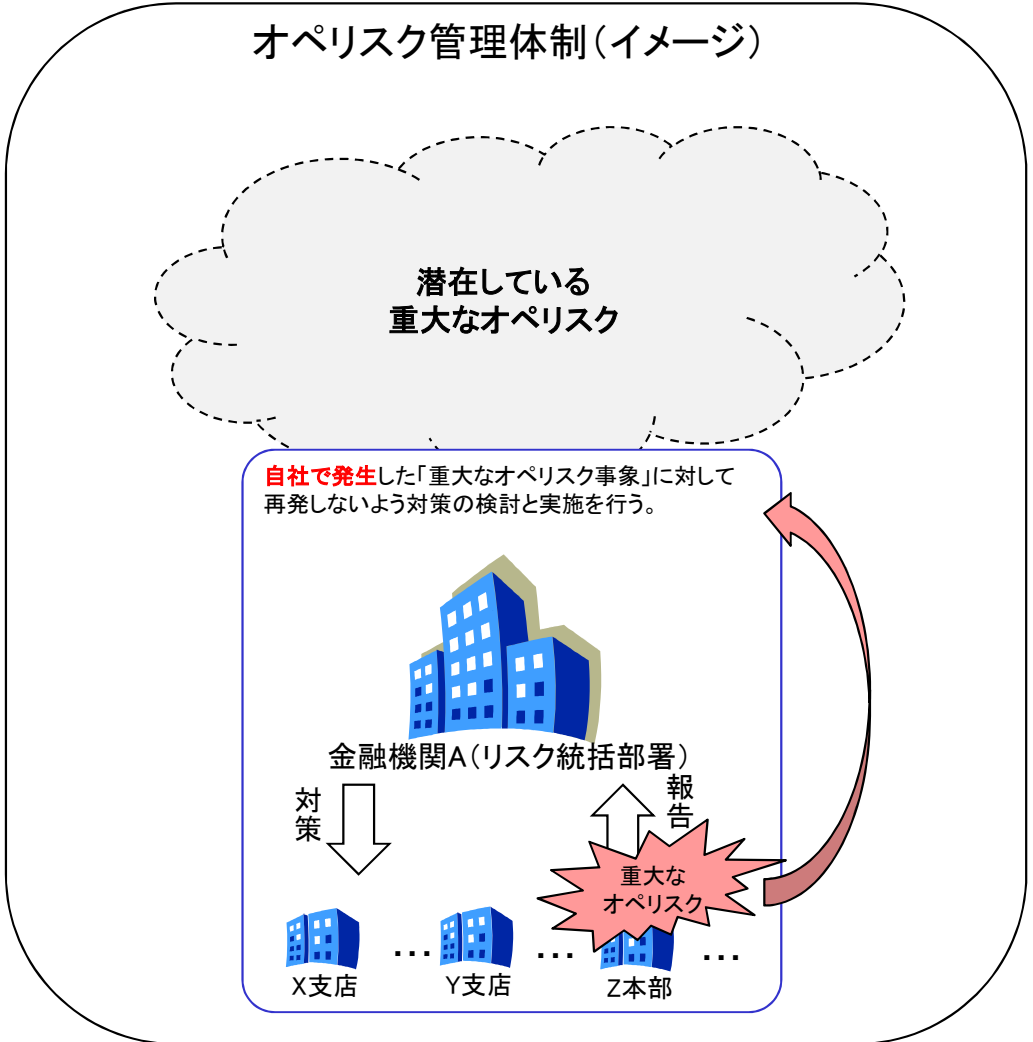
- ✓ RDB仕分担当者は、会員から抽出されたデータを、1件1件読み、RDB仕分分類を付与しております。
- ✓ RDBでは、この仕分作業に専任担当者を配しており、その全員が金融機関業務経験者です。
- ✓ 仕分作業において最も重要なことは、全データを統一的な目線で捉え、会員横断的に“データの意味”を揃えることと考えております。
- ✓ RDBでは、この手作業によるクオリティの高い仕分分類の付与を行うことで、比較や分析に活用可能な共同DBの還元を実現しています。

■ オペレーショナル・リスク管理高度化の2つの柱



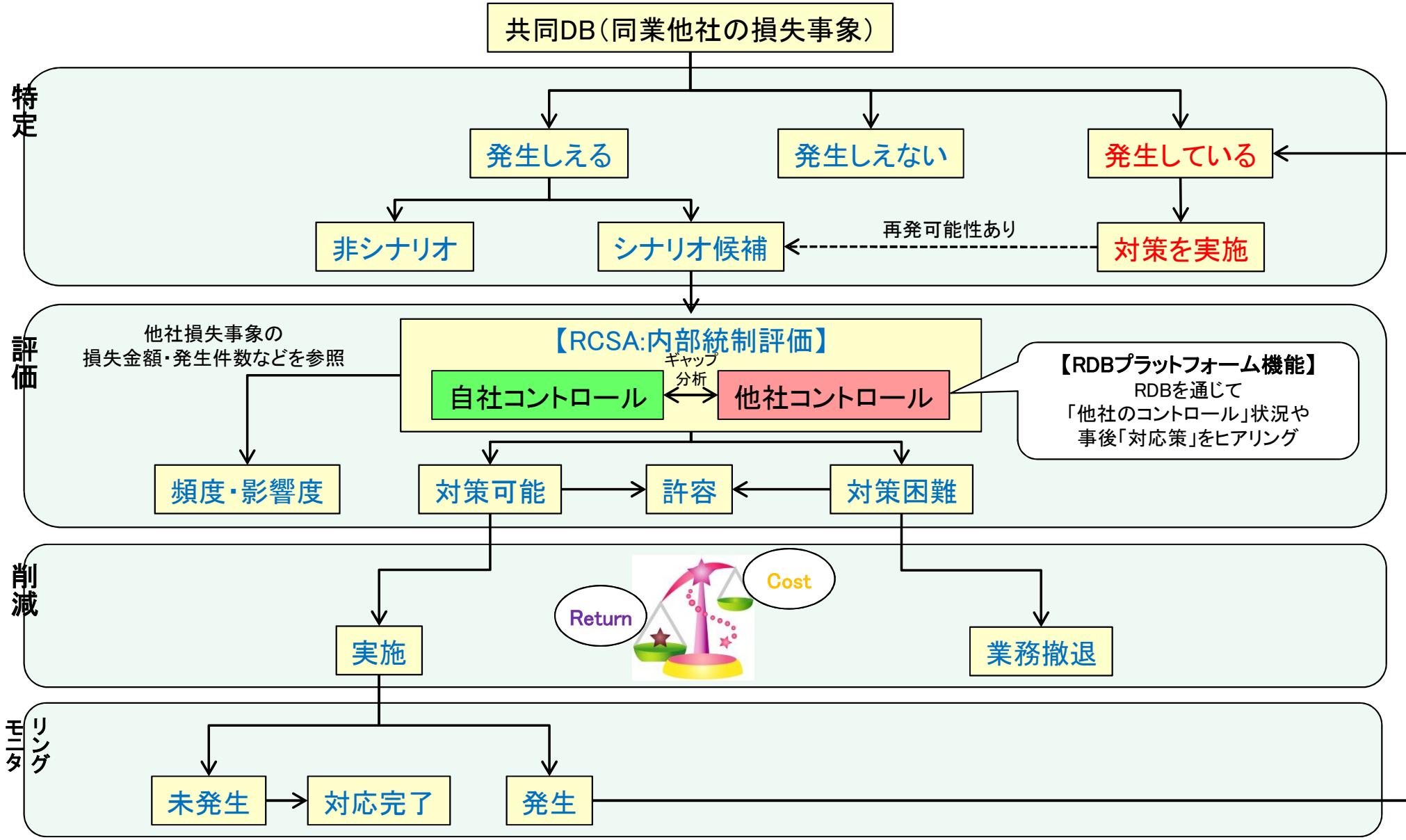
共同DBを活用したオペレーショナルリスク管理②

- 共同DBは、過去に自社では発生していない重大なオペリスク事象を特定する際に特に活用されています。
- 同業他社で発生した重大なオペリスク事象を自社で発生した事象に置き換えて、対策の検討と実施を行うことでより頑健なオペリスク管理体制を構築することができます。



■ PDCAサイクルイメージ図(以下のフローを半年 or 年に1回実施)

【目的】経営に重大な影響を及ぼすリスクの把握



サービスラインナップ

基本サービス	<ul style="list-style-type: none"> ●仕分後内部損失データの還元 各会員から拠出された各社独自の内部損失データをRDBフォーマットに統一変換して還元 ●有形資産リスク試算(震災シミュレーション) 地震や津波による有形資産リスクを計量 ●ユーザー会議の開催 情報提供や意見交換の場としてユーザー会議を開催(年2回)
TORAサービス (Technical Operational Risk Assessment)	重要コード付還元データ還元、リスクシナリオ候補一覧還元 重要リスク事象パターン一覧、シナリオワークショップ開催、シナリオDB
SORAサービス (Statistical Operational Risk Analyzer)	RDB オペリスクVaR計量モデル
個別アドバイザリー	個別会員様ニーズへの対応

は、DB会員向けオプションサービス

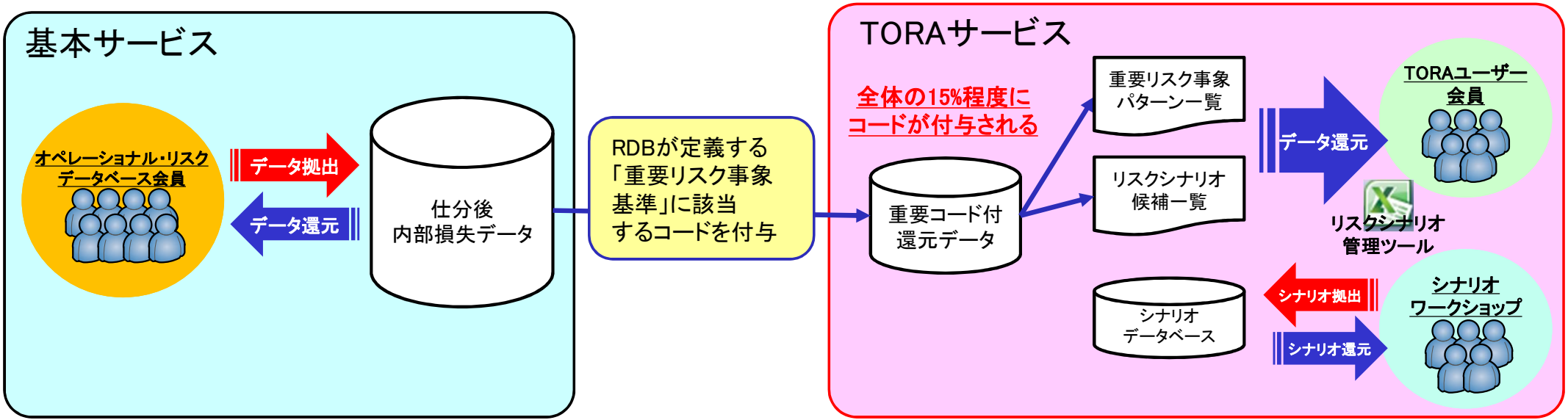
■ オペレーショナル・リスク・データベースの会員様は、以下の基本サービスをご利用いただくことができます。

<p>① 還元データのご提供</p>	<p>4種類のデータを還元</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 仕分後内部損失データ 各会員から拠出された内部損失データをRDBフォーマットに統一 ● シナリオⅠデータ 仕分後内部損失データを業務・工程・事象区分ごとに集計 ● シナリオⅡデータ オペリスクに関する報道情報をRDBフォーマットに統一 ● シナリオⅢデータ 地震や津波による有形資産リスクを計量
<p>② 分析レポートのご提供</p>	<p>還元データを集計・分析し、レポート形式でご提供</p>
<p>③ ユーザー会議の開催</p>	<p>情報提供や意見交換の場としてユーザー会議を開催（年2回）</p>
<p>④ 勉強会・研究会の開催</p>	<p>目的やトピックに応じた勉強会・研究会等を開催</p>

TORAサービス①

- TORAサービスは、共同DBのオプションサービスです。
- 仕分後内部損失データとRDBが持つ会員間のプラットフォーム機能を最大限に活用し、効率的なオペリスク管理業務をサポートし、リスクシナリオの妥当性や十分性の向上、リスク事象への対応力強化等を通じてオペリスク管理業務の高度化をサポートします。

TORAサービス概要



TORAサービス②

自律的なオペリスク管理PDCAサイクルの構築をサポートするため、RDBは新たなオペリスク・アセスメント手法であるTORA (Technical Operational Risk Assessment)を提供しています。

<p>料金体系</p>	<p>年間利用料 1,500千円 (税抜)</p>
<p>サービス内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 重要コード付還元データの還元利用 仕分後内部損失データに重要リスク事象コードを付与したもの 2. 重要リスク事象パターン一覧の還元利用 重要リスク事象を損失事象パターンとして一覧化したもの 3. リスクシナリオ候補一覧の還元利用 重要リスク事象パターンのうち特に重要な損失パターンをシナリオ化したもの 4. リスクシナリオ管理ツールの利用 上記還元データを基に潜在リスクを特定・評価・管理するためのワークシート 5. シナリオワークショップへの参加 潜在リスクシナリオの頻度・影響度の相互検証や、網羅性向上に向けた情報共有、協議のための会合 6. シナリオデータベースの還元利用 シナリオワークショップ参加ユーザーのリスクシナリオをRDBが仕分、管理し、還元
<p>備考</p>	<p>毎年4月のお支払となります。 年度途中でのご契約の場合は3月末までの月割にてご請求します。</p>

料金体系	<p>入会金：2,000千円 / 年（税別） ※既存RDB会員＜信用データベース＞ は入会金免除 年会費：3,000千円 / 年（税別） ※既存RDB会員＜信用データベース＞ は2,000千円 / 年（税別）</p>
データ拋出	<p>内部損失に関するデータ拋出が必要です （入会后3年間はデータ拋出をお願いいたします）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各金融機関様で収集している内部損失データ（直接損失または間接損失が発生しているもの） ◆ 四半期ごとの拋出（拋出月の3ヶ月前の月初～1ヶ月前の月末の間に発覚したデータ） ◆ 会員様内部にてご負担のない形でのデータ拋出（フォーマットの指定なし） ◆ 会員様を特定できる部分のマスキングが必要 <p>その他詳細は個別打合せにより決定いたします</p>
サービス内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ データベースの還元： 各会員から拋出された各社独自の内部損失データをRDBフォーマットに統一変換して還元します ✓ 分析レポートのご提供： 還元データを集計・分析し、レポート形式で提供します ✓ オプションサービスのご利用：（別途有償） TORAサービス・SORAサービスのほか、共同データベースを活用したオペレーショナル・リスク管理体勢構築アドバイザリーを提供しております ✓ 各種研究会の開催： 年2回のユーザー会議をはじめ、目的やトピックに応じた勉強会・研究会等を開催しております
連絡先	<p>〒105-0011 東京都港区芝公園1-8-21 芝公園リッジビル9F Tel:03-5425-2331 Fax:03-5425-2332 mail:or@riskdatabank.co.jp http://www.riskdatabank.co.jp</p>